



お年寄りに寄りそろう

桜舞館小学校 四年 荒木 君羽

「少し動くだけでも大変だな。」  
高年齢者体験を通してそう思った。  
いつも笑顔のおばあさんやおじいさんの気持ちを知った。

私たち桜舞館小学校の三年生は、竹里館のお年寄りと交流するために、多くのことを学習してきた。学習する中で、いつも笑顔で遊んでくれていたおばあちゃんが、いろいろなやみをもっていることが分かった。

学習の一つとして行った高齢者体験では、おもりをつけて体を動かさづらくしたり、ゴーグルをつけて目を見えづらくしたりして、お年寄りの体を体験した。

「うでや足が重くて動きづらいなあ。」  
「友達の顔がぼやけて見えるな。」  
おもりをつけて歩いてみると、背骨が曲がり、階段を上るのが一苦労だった。

「おばあちゃんはいつもこんなに苦労しているんだな。離れてくらすようになったけど、大丈夫かな。」

わたしのおばあちゃんは、おいしいごはんを作ってくれたり、おやつ

の時間には、クッキーやチョコレートをくれたりして、とても優しい。離れて暮らすようになり、あまり会う機会がなくなっていた。私は心配になって、おばあちゃん家に行ってみた。

「体は、大丈夫？」  
「大丈夫よ。心配してくれてありがとう。」

おばあちゃんの元気な姿に少し安心した。そばにいてくれることが、当たり前だと思っていた。だけど、これからは進んでお手伝いしているかと思っ

た。これまでの学習を通して、お年寄りの思いや願いを知り、わたし達のおじいさんやおばあさんをもっと大切にしたいという思いが強くなった。自分にできることを考え、お年寄りに進んで関わることで、優しい輪を広げていきたい。

【先生のコメント】

総合的な学習の時間を通して、お年寄りのさまざまな悩みを理解することができましたね。また、竹里館のお年寄りにとって、スタッフの方々の笑顔や優しさは、元気の源になっていることを知りましたね。自分にできることを考え、行動に移すことができる君羽さんは本当に素敵な人だと感じました。これからも、持ち前の明るさと優しさで、おじいさんやおばあさんの心の支えになってほしいと思います。

※この作文は、荒木さんが三年生のときに書いたものです。

人権相談(無料)

ひとりりで悩んでいませんか?

【人権何でも相談所】

- 日時 5月19日(水)午後1時～4時
- 場所 あたご苑
- 相談内容 いじめ、体罰、部落差別・男女差別・外国人差別などの差別問題、家庭内(夫婦・親子、結婚、離婚、扶養、相続など)・借地借家・相隣間のもめごと、悩みごとなど

【女性相談所】

- 日時 5月13日(木)午前10時～午後3時
- 場所 福岡法務局柳川支局
- 相談内容 原則として女性からの相談 ※女性の権利擁護委員が相談に応じます

【常設相談】

- 時間 午前8時30分～午後5時15分 (土、日、祝日を除く)
- 場所 福岡法務局柳川支局
- 相談内容 法務局職員または人権擁護委員
- 相談電話番号 (TEL)0570-003-110
- 福岡法務局柳川支局 (TEL)72-2640

【特設人権相談所】

- 6月1日は、「人権擁護委員の日」です。身近な相談パートナーである人権擁護委員が、さまざまな相談に応じます。
- 日時 6月1日(火)午前10時～午後3時
- 場所 山川市民センター
- 相談内容 家庭内の悩みごと、隣近所とのトラブル、いじめ、差別など
- 福岡法務局柳川支局 (TEL)72-2640

大牟田柳川信用金庫勤務

大野 誠和さん (34歳)

大牟田柳川信用金庫に勤めている大野誠和さん。地域に根付いた金融機関の営業として、地元企業のアピールやサービス向上にも取り組んでいる。「地域によって人柄・土地柄が違うので面白い。企業へのサポートを通じて、地域経済の発展を第一に考えています」

地域のために精いっぱい支援を  
「お客様によつて悩みやニーズは多種多様です。これまでの経験を活かしながら、お客様それぞれに合う、精いっぱい支援をできるように頑張っています」

企業だけでなく、漁師や農家など、さまざまな業種と関わる。事業を進める中で、分からない言葉などもあるため、コミュニケーションを意識的に積み重ねる。

「私たちが取り扱う金融商品は、目には見えないものです。しかし、地域に密着しながら商品の提供、事業発展のサポートをしていく中で、感謝の言葉をいただけることがやりがいになっています」

コロナ禍でも最善を尽くす

対面でのやり取りが基本の営業も、新型コロナウイルスのため通常どおりにはできない状況になった。コロナ禍で企業からの相談も増加したとのこと。

「職員一人丸となって、サービスを低下させないよう奮闘しています。誰も予想できない状況ですが、ケースバイケースでの対応を心がけています」

地元地域に貢献したい

瀬高支店への転勤がきっかけとなり、みやま市の商工会青年部に所属。昨年は花火大会などは開催できなかったが、これからイベントができるようになれば積極的に参加したいと話す。

「地元に貢献したい思いでこの仕事に就きました。仕事と商工会での活動を通して、地域の活性化に寄与できればと思います」



おおの まさかず  
昨年同金庫瀬高支店に配属。趣味はお出かけ。大牟田市出身。  
【みやまにひとこと】  
仕事をする中で、人の温かさを感じます。自然や食べ物も魅力的だと思います。  
【好きな言葉】  
一期一会

みやま文芸

真清水俳句会

- 山登りチングルマ咲き肌冷やす 梅野 博山
- 来る人を待ちかねてゐる林の花 紙田 幻草
- 花苔と半日すこす狭庭かな 樺島美代子
- 青空に悶着のあり初蛙 平井 和子
- 紫陽花や白より紅に変化する 宮地 末子
- 白靴を履きて避けて行く潦 森田 蓉子

清水句会

- 花吹雪浴ぶや浄土を浮かべつつ 綿貫 惇
- 落人の郷の一本桜かな 田尻カツ子
- 静静と刻を流して落花舞ふ 綿貫 淑子
- 心無に散りゆく桜見つめぬし 古賀 麗子
- 音のなき落花の音を聞いてをり 岩屋 清美
- 花屑のじゅうたんとなる園の昼 壇 篤子
- 絶えまなく風の重なる花吹雪 猿渡 洋子

※俳句・短歌は市内の団体から提供いただいたものを順次掲載しています。